
2022 年度 関東学生水球リーグ戦

兼 第 98 回日本学生選手権水泳競技大会＜水球競技＞

関東支部予選会 実施要項(2022. 04. 22訂正)

<主催> 公益財団法人日本水泳連盟 学生委員会 関東支部

<主管> 神奈川県水泳連盟、埼玉県水泳連盟、東京都水泳協会

<期日> (男子 1・2 部) 5 月 14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)、22 日(日)、28 日(土)、29 日(日)、6 月 4 日(土)、5 日(日)、12 日(日)

上記期間内にて実施

(女子) 同上日程内にて実施

<会場> 日本体育大学健志台プール、早稲田大学所沢プール、成蹊大学プール、慶應義塾大学日吉プール、国士舘大学世田谷プール

<競技方法>

(1) リーグ構成

- ① 男子は、2021 年度関東学生水球リーグ戦の結果に基づき、上位 8 チームを 1 部、それ以外のチームを 2 部とする 2 部構成とする。
- ② 女子は、参加チーム数に応じて構成を決定する。
- ③ 前年度参加チームの不参加が事前に確認できた場合は、不参加チームの下位のチームの順位を繰り上げる。不参加チームが次年度若しくはそれ以降再び参加する場合は、全参加チームの最下位に位置付ける。

(2) 試合形式

- ① 男子 1 部については、2021 年度学生リーグ順位を適用し 8 チームによる 1 回戦の総当り戦を行い、さらに上下 4 チームによる順位決定トーナメントを行う。
- ② 男子 2 部については、2021 年度学生リーグ順位を適用し AB の 2 グループに分け予選リーグとして 1 回戦の総当り戦を行い、さらに上位 4 チーム、他の下位チームによる順位決定トーナメントを行う。
- ③ 各リーグ最終順位決定後、1 部 7 位と 2 部 2 位、1 部 8 位と 2 部 1 位が 1 回戦の入替戦を行い、その結果に基づき次年度のリーグ構成および第 98 回日本学生選手権水泳競技大会＜水球競技＞関東支部出場権獲得チームを決定する。
- ④ 女子については、2021 年度学生リーグ順位を適用し 6 チームによる 1 回戦の総当り戦の後、順位決定トーナメントを行う。

⑤ 試合時間はすべて8分×4P（インターバル2分、3分、2分）とする。

(3) ゲーム形式

① 勝ちを3点、引き分けを1点、負けを0点とする勝点制により順位を決定する。

② 2チームの勝点が同点の場合は、対象チームの直接対戦成績により順位を決定する（タイブレークシステム）。直接対戦が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合は、主将トスによる抽選で順位を決定する。

③ 3チーム以上の勝点が同点の場合は、対象チーム間の対戦結果で順位を決定する。まず対象チーム間の勝点、次にコールドゲーム数、その次に得失点差、そして総得点を比較する。このとき、対象チームが2チームに減った段階で、上記②を適用する。それでも3チーム以上が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合、抽選によって順位を決定する。

④ 順位決定戦・入替戦において第4ピリオド終了時に同点の場合は、(公財)日本水泳連盟水球競技規則に則りペナルティシュート戦にて勝敗を決定する。

⑤ いずれの試合も15点差がついた時点でコールドゲームとし試合を終了する。
ただし、第2ピリオド終了までは実施する。

⑥ 試合不成立の場合は、不参加または失格したチームを0対15にて不戦敗（コールドゲーム）とする。

(4) 第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権

男子は本リーグ戦の入替戦後の上位5チームを、第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権獲得チームとする。ただし、第97回大会上位4チーム（シードチーム）を除く。関東支部の場合は開催支部枠が1枠を与えられる。

女子については本リーグ上位2チームを出場権獲得チームとする。ただし第97回大会上位2チーム（シードチーム）を除く。

(5) 組合せ

申込締切後、事務局より各チーム宛に連絡する。

<グラウンドルール>

- (1) ベンチには6名までの交代選手、監督1名、コーチ・チームオフィシャル2名が入ることが出来る。監督・コーチ・チームオフィシャルは本部にて交付される役員証を着用の上ベンチ入りすること。監督は正装・チームユニフォーム等品位ある衣服を着用すること（襟付きシャツ、長ズボン）。
- (2) メンバー表は、試合開始60分前までに本部席に提出すること。メンバー表にはベンチ入りする監督名を記入すること。
- (3) 帽子は組合せ表の左側のチームを白、右側のチームを青とする。他の色の帽子の着用を希

望する場合はメンバー表提出時に本部席まで申し出、承認を得ること。その場合、帽子と同色のセクレタリー用の旗を一本用意すること。

- (4) ベンチサイドは、本部席から見て左側を白チーム、右側を青チームとする。
- (5) 招集は試合開始 15 分前に行う。選手はメンバー表通りの帽子を着用し招集を受けること。招集時に不在の選手は当日の試合に出場することはできない。招集時 7 名未満のチームには、責任者（監督・コーチ・キャプテン）に当該人数での試合実施の是非を確認する。
- (6) 棄権する場合は、当日の第一試合開始 30 分前までに、所定の用紙に必要事項を記入して本部席に提出すること。時間を過ぎた場合は、棄権料 10,000 円を徴収する。
- (7) チームの水着は同一の生地・デザイン・色とする。
- (8) 競技役員・補助役員（3 名）派遣他定められた役務を全うしないチームは失格扱いとすることがある。
- (9) ウォーミングアップは会場毎定められた場所、時間にて行うこと。
- (10) 会場内でカメラ・ビデオ等の撮影を行う場合は、本部席にて撮影許可証の交付を受けること。
- (11) 上記の他は、(公財)日本水泳連盟水球競技規則、及び水球一般規則に従う。

<表彰>

- (1) 男子各部及び女子の上位 3 チームを表彰する。
- (2) 男子各部及び女子の最多得点者を表彰する。

<参加資格・制限>

(1) チーム

2022 年度（公財）日本水泳連盟学生委員会関東支部加盟校であること。

※新潟産業大学については中部支部加盟。女子は中部支部に女子が他にないため関東支部予選会参加とする。

(2) 選手

2022 年度（公財）日本水泳連盟学生委員会関東支部競技者登録を完了していること。

※新潟産業大学は中部支部競技者登録を完了していること。

(3) 「連合チーム」の参加について

複数の加盟校からなる「連合チーム」の参加を認めることがある。ただし、最下部リーグでの単年度のみ参加とし、入替戦および日本学生選手権水泳競技大会への出場権はない。「連合チーム」としての参加を希望するチーム・選手は事前に事務局に相談すること。

(4) 競技役員・審判員派遣

参加チームは、(公財)日本水泳連盟またはその加盟団体が発行する競技役員資格を有する競技役員、及び(公財)日本水泳連盟水球審判資格を有する審判員を、最低 1 名ずつ派遣すること。

(5) 補助役員派遣

参加チームは、割当表に従い 3 名ずつのセクレタリー他の補助役員を派遣すること。補助役員

はルールに精通している者で、競技を支障無く運営出来るものとする。

<申込方法>

所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、指定の期日までに学生委員会関東支部水球実行委員会に申し込むこと。詳細については、別途連絡する。

申込締切日：**2022年4月9日(土) 17:00迄**

申込金：1チームにつき**120,000円(男子)、70,000円(女子)**

<監督者会議(予定)>

5月7日(土) 17:00～オンラインにて開催

※ 監督者かこれに代わるチーム責任者が出席すること。欠席の場合は、会議決定事項については議長に委任するものとする。

<問合せ先>

(公財) 日本水泳連盟 水球委員会 競技運営部/学生委員会 関東支部 水球担当

帖佐 晋治 (ちょうさ しんじ)

携帯電話：080-3420-2671 Eメール：s.chosa@dentsu.co.jp

(公財) 日本水泳連盟 学生委員会 関東支部 水球実行委員長

大川 佳鈴 (慶應義塾大学)

携帯電話：090-5516-7848 Eメール：karinokawa.kowp@gmail.com

<2022年度リーグ構成>

(男子1部)

- 1位 日体体育大学 ※
- 2位 明治大学
- 3位 筑波大学 ※
- 4位 早稲田大学 ※
- 5位 専修大学
- 6位 中央大学
- 7位 慶應義塾大学
- 8位 成蹊大学

(男子2部)

- 1位 日本大学
- 2位 国際武道大学
- 3位 順天堂大学
- 4位 東京大学
- 5位 学習院大学
- 6位 東京工業大学
- 7位 上智大学
- 8位 一橋大学
- 9位 成城大学
- 10位 防衛大学校

※第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>シードチーム

(女子)

- 1位 秀明大学 ※
- 2位 日本体育大学 ※
- 3位 東京女子体育大学
- 4位 早稲田大学
- 5位 国士館大学
- 6位 新潟産業大学

※第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>シードチーム

以上

2022 年度学生リーグ <水球競技>
実施にあたっての感染症対策の観点における注意事項

1. 競技会実施の目安

- プール施設が使用可能であること
- 身体的距離を保てる適切な人数での競技会実施が可能な段階もしくは、制限なく競技会が可能な段階
- 都道府県をまたいでの移動の制限がない段階
- 宿泊を伴う全国大会が可能な段階

2. 競技会への参加条件（以下の条件を満たしている選手、監督・コーチ、競技役員とする）

- 同居家族や職場の同僚等、身近な方に感染者が出た者および感染が疑われる者は参加できない。
- 2週間風邪などの諸症状（発熱・乾いたせき・倦怠感・のどの痛み・頭痛・下痢・味覚や嗅覚の異常など）がみられないこと
- 入場者の健康管理の実施（2週間前からの健康チェック表提出）
- 入館時の検温実施
- **部内に感染者が出た場合**

①所属する大学のガイドラインに従い、部活動停止となる場合は再開後から試合に参加。

②部活動停止にならない場合は、PCR検査を受け陰性証明ができた者に限り参加を認める。

等 日本水泳連盟『水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』に遵守

3. 大会開催にあたり

- 大会は無観客とする
- 入場人数制限を設ける＊（詳細は次ページ参照）
- 開会式は行わない
- 観客席は選手控え場所とし、ソーシャルディスタンスを守って間隔をあけて使用する
- 会場内では常時マスクを着用とし、大声での応援や指示を禁止とする
- 選手の入場は試合開始1時間前・退場は試合終了後1時間以内とし、会場内は常に試合チームとアップチームの4チームのみとする
- 試合間隔を開けアップ時間やベンチ消毒のための十分な時間を取る（アップタイムを30分確保する）
- 更衣室、ベンチ、競技役員テーブル、招集所においても間隔をひろく取り3密にならない対応とする
- 更衣室等プール施設利用については各施設の使用規定に遵守する
- 退館後 2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して陽性者の情報及び濃厚接触者の有無等について報告すること

以上

会場ごとの入場人数制限について

【日本体育大会会場】

メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名
計23名入場可

ただし、その他関係者4名を明確にする必要がある。例)メンバー補欠・マネージャーなど
なお、その他関係者4名について観戦を目的とするものは入場不可。

【慶應義塾大会会場】

メンバー13名+監督・コーチ3名+チーム関係者もしくは父兄で上限20名まで
計36名入場可(試合時の情勢によって変更の可能性有)

すべてのチームは自チームの試合中に限り上記規定にかかわらず部員の観戦可能。

なお、父兄の入場は最大20名まで。

上記36名のうち観戦を目的としていない(マネージャー、メディカルスタッフ等)チーム関係者は、選手とともにプールサイドに入ることができる。

【国士舘大会会場】

父兄の観戦は不可、チームメイトの人数については制限なし。該当試合のみ観戦可

【成蹊大会会場】

メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名
計23名入場可

【早稲田大会会場】

メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名
計23名入場可

●上記の条件で入場人数を定めるにあたり、入場コントロールを厳密に行う

- ①すべての入場者は2週間前からの健康チェック表提出及び入館時の検温実施
- ②チーム名の書いてあるADカードを、各チーム入場可能人数分用意する
- ③各日程事前に入場者の名簿を提出し、入場時受付にて名前を確認後ADカードを配布する。
急な入場者の変更は当該チームの学連を通して対応。
- ④部員及び指導者等のチーム関係者以外の観客(父兄及び慶應会場については観戦を目的として部員)は入退場時間及び導線を完全に分ける
⇒部員及びチーム関係者の入場は試合開始1時間前、退場は試合終了後1時間以内
その他観客の入場は試合開始30分前、退場は試合終了後30分以内 とする
- ⑤チームごとに観戦エリアを定め、チーム間で接触しないようにする